

CE50E Jog

1983年 / 市販車

1970年代から80年代初頭にかけての、過熱した原付バイクの開発競争は、このモデルの登場前に収束していた。

然しながら、若者の原付に対する関心は依然として高く、軽快でアクティブな“スニーカー”のイメージをテーマに開発されたスポーツスクーターが開発された。4.5馬力のパワフルなエンジンと49kgの軽量ボディを組み合わせ、瞬発力のある元気な走りを実現していた。実用性なども最高レベルをめざし、若者向けの定番モデルとなった。

デザイン面では、発売当時非常に斬新だったボディー体型のフロントフェンダーが特徴的で、軽快さとスピード感を印象付け、ライバル含めその後のスポーティーなスクーターの象徴的表現として多大な影響を与えることとなった。

1984年発売のモデルは洗練された都会的な印象の2トーンのカラーリングで、レッグシールドに貼付された車名ロゴ入り大型円形ステッカーは、敢えて車体正面から見て非対称位置に配され、快活で洒落た印象を演出している。

